



写真3 稚児野遺跡出土石器

ナイフ形石器（1～3）、削器（6）、搔器（4・5）、刃部磨製石斧（13・14）

黒曜石（10～12）、サヌカイト（2～4・7～9）、チャート（1・5・6）、頁岩（13・14）

なめしなどに用い、削器は物を切ったり、削ったりしたものと考えられています。刃部磨製石斧は、地元産の頁岩で作られており、素材と考えられる大型の頁岩なども出土しています。この石器も後期旧石器時代前半に特徴的な石器です。石器の特徴から、約36,000年前の石器と考えられます。

まとめ

今回の調査によって、後期旧石器時代前半の人々が暮らしていた痕跡を見つけることができました。石器の集中部を9か所以上検出し、これまで京都府内で発掘調査した旧石器時代の遺跡では最も大規模な遺跡であり、石器の出土点数も多いことが判りました。

旧石器時代の人々は、狩りのため季節的に移動していましたが、二上山周辺のサヌカイトや隠岐諸島の黒曜石などの遠方の石材が用いられていることは、稚児野遺跡の旧石器時代人の広範囲にわたる移動の証拠を示す貴重な成果となりました。今後、近くにある兵庫県丹波篠山市板井寺ヶ谷遺跡や同丹波市春日七日市遺跡などの兵庫県側の丹波地域の遺跡や、広く日本海側の遺跡群との関連についても考えていく必要があるでしょう。



あいらんざわかざんばい
始良丹沢火山灰とは？

鹿児島湾にある始良カルデラの約3万年前の噴火で飛来した火山灰です。噴出量が多かったため、日本列島の広い地域で見つかります。火山灰は噴出年代を示すことから、離れた地域の遺跡を対比するための基準層となります。今回の調査では、10cmほどの厚みで見つかりました。

後期旧石器時代

★ 稚児野遺跡

40,000年前

30,000年前

20,000年前

草創期

早期 縄文時代

前期

中期

後晩期

弥生時代

稚児野遺跡 第3次調査

調査場所 京都府福知山市夜久野町井田

調査期間 令和2年6月1日～令和3年1月末予定

調査面積 3,300 m²



速報展示

日時 令和2年11月28日(土)、同年11月29日(日)

同年12月5日(土)、同年12月6日(日)

午後1時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

場所 夜久野町化石・郷土資料館

京都府福知山市夜久野町平野 2150

入場料 大人110円、中学生以下無料

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している方、およびその介護の方1名は入館料が半額となります。

公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

はじめに

稚児野遺跡は、牧川と畑川に挟まれた標高約104mの台地上に位置する旧石器時代から平安時代の遺跡です。令和元年度に旧石器時代の包含層を確認し、令和2年度になって本格的な調査を実施しました。その結果、約3万年前に噴火した始良丹沢火山灰層よりも下の地層から約700点の石器が出土しました。京都府で、最も石器の出土点数の多い後期旧石器時代の遺跡になりました。

なお、今回の調査は、国土交通省福知山河川国道事務所の依頼を受け、国道9号の改良工事にともない実施しました。

調査概要

稚児野遺跡は開墾や開発によって削平を受けており、旧石器時代以外の遺構はほとんど残っていませんでした。石器は図2にみられるように調査区の南側から多く出土しています。石器が出土している地点は小さな尾根にあたり、石器は尾根の稜線から日当たりのよい南側の斜面にかけて分布していました。

石器の分布を詳しく見ていくと、石器がまとまって出土する集中部がいくつかあることがわかり



図1 調査地位置図及び周辺遺跡分布図
(国土地理院 福知山西部 1/25000)

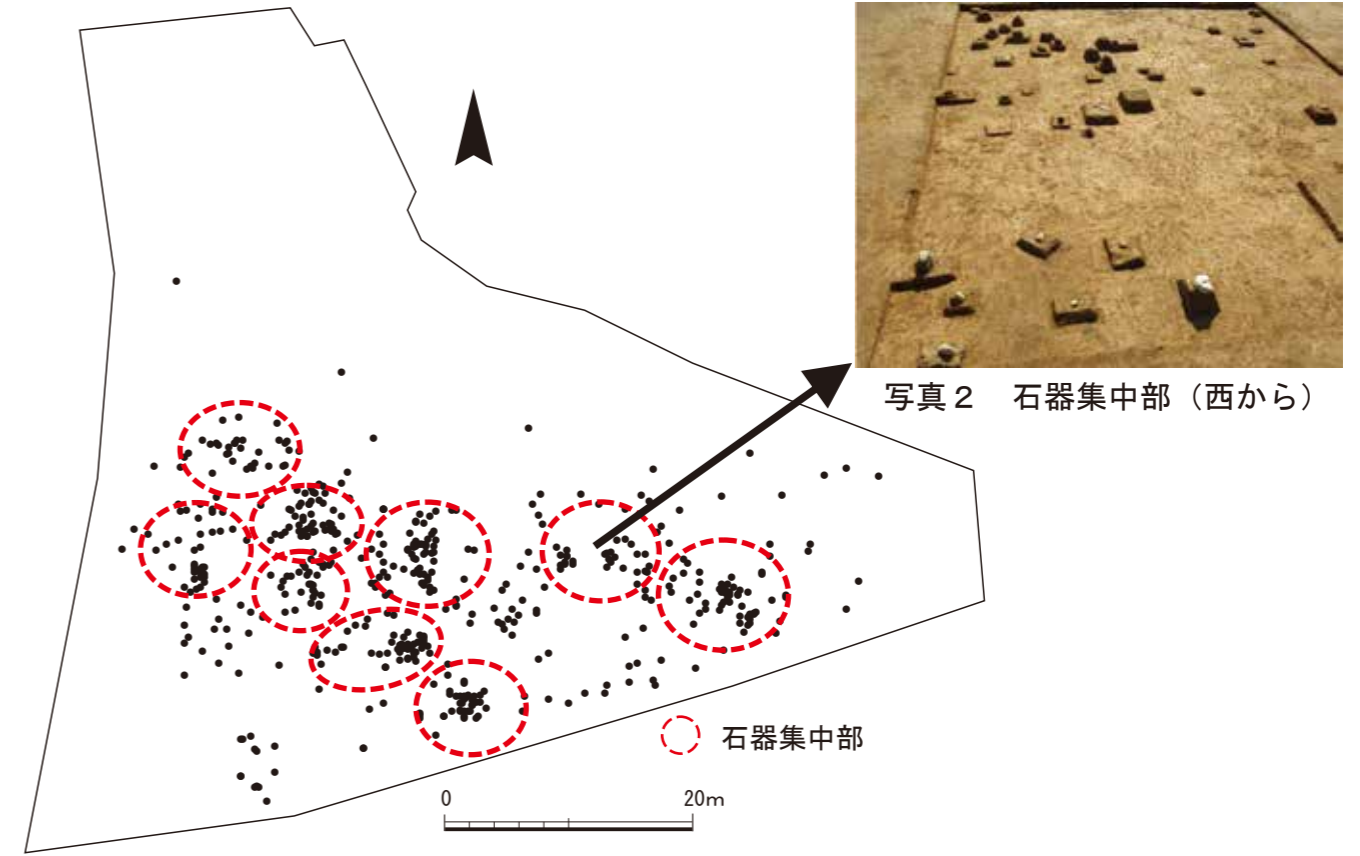


図2 石器出土状況

ます。こうした集中部は旧石器時代人が石器を製作したり、使用した跡だと考えられています。この遺跡では、9か所ほどの石器集中部があることを確認しました。石器集中部の大きさは7m～10mほどで、場所によって割られていた石材に違いがありました。南東側に位置する集中部ではサヌカイトが、北東側ではチャートや頁岩が多い傾向があります。また、集中部から、人頭大の円礫が出土することもあり、作業台などに用いるため遺跡に持ち込まれたものと考えられます。

石器について

石器の石材には黒曜石、サヌカイト、チャート、頁岩などが用いられています。頁岩は地元で入手できる石材ですが、黒曜石は島根県隠岐諸島から、サヌカイトは奈良県と大阪府の境にある二上山周辺から運ばれたと考えられます。チャートは丹波山地に見られる石ですが、遺跡周辺では産出していません。

発見された石器の大半は、道具を作る際にできた石屑等ですが、少量の道具も出土しています。

道具にはナイフ形石器(1～3)、削器(6)、搔器(4・5)、刃部磨製石斧(13・14)などがあります。

ナイフ形石器は槍先として使用したもので、稚児野遺跡の石器は基部側に簡単な加工が施されている後期旧石器時代前半に特徴的な石器です。搔器は皮



写真1 発掘調査作業風景 (西から)



図3 石材産地